

第6回日本サービス大賞 応募説明会

## 第6回日本サービス大賞について



2026年 8月 27日（木）

**SPRING**  
サービス産業生産性協議会



- ◆ 革新的なサービスを生み出し、顧客との価値共創に成功して、優れた業績をあげ続けている、日本のサービスイノベーション推進のシンボルとなる取り組みを表彰
- ◆ 優れたサービスを生み出し続けるプロセスがどう創り出されているかに着目し、受賞サービスの優れたプロセスや経営を多くの企業が学びやすいかたちにして広めることで、日本のサービスイノベーションを推進し、サービス産業の生産性向上に寄与することを目指す

# 表彰の種類(予定)

- ◆ 内閣総理大臣賞
- ◆ 経済産業大臣賞
- ◆ 厚生労働大臣賞
- ◆ 国土交通大臣賞
- ◆ 優秀賞
- ◆ 総務大臣賞
- ◆ 農林水産大臣賞
- ◆ 地方創生大臣賞
- ◆ 審査員特別賞

各賞は、該当なしとなる場合や、上記以外の賞を設けることがあります。

なお、受賞に至らなかった事例についても、優れた事例として広くご紹介する場合があります。

受賞件数:第1回:31件、第2回:18件、第3回:30件、第4回:30件、第5回:33件  
合計142件



Photo : Hirokazu Fukushima (frap Inc.)  
【第1回】九州旅客鉄道



【第2回】三菱地所



【第3回】コマツ



【第4回】エークローゼット



【第5回】ナビタイムジャパン

これまでの内閣総理大臣賞受賞組織

# 応募対象者について(概要)



日本国内に拠点を置く事業者であれば、業種や事業の営利・非営利を問いません。製造業、農林水産業によるサービス事業も応募可能です。



応募できるサービス事業は、応募時点で実際に提供しているものに限りします。



同一事業者による複数サービスの応募が可能です。



過去に応募したことのあるサービスでも応募が可能です。

- ※ 公序良俗に反する等、社会通念上不適切と思われる事業者は除きます
- ※ 応募や審査に対する費用はかかりません
- ※ 簡単な応募フォーマットに記入するだけで応募できます

|                  |                 |
|------------------|-----------------|
| 2026年 8月         | 応募要領、応募フォーマット公開 |
| 2026年 9月14日(月)   | 応募受付開始          |
| 2026年10月29日(木)   | 応募締切(15:00まで)   |
| 2026年11月～12 月    | 書類一次審査          |
| 2026年12月～2027年4月 | 書類二次審査          |
| 2027年 4月～        | 現地審査            |
| 2027年 冬          | 発表・表彰           |

※ 諸状況により変更となる場合があります。

サービスの高度化と産業の発展を先導する「革新的な優れたサービス」であること。  
優れたサービスの本質である、サービスの送り手と受け手の「価値共創」を軸に、  
以下に示したような観点から、定性的・定量的に段階的な審査を行う。

①顧客から見たサービスの良さ(明快性、革新性、優越性)

②「サービスをつくりとどけるしくみ」の良さ(明快性、革新性、優越性)

③成果(顧客価値、事業の継続性・発展性)

④サービスイノベーションを通じた社会の発展への寄与(モデルとしての期待)

例えば、

- ◆ 生産性向上、1人当たり付加価値の向上
- ◆ 少子化対策・子育て支援への貢献
- ◆ 従業員の働きがいや働きやすさの向上
- ◆ 先端的な情報通信技術の活用・制御
- ◆ 製造業・農林水産業のサービス化
- ◆ サービスモデルの革新
- ◆ サーキュラーエコノミーの進展
- ◆ 世界共通の課題解決および日本経済成長への貢献 等
- ◆ 経営システム革新(研究開発・人材・仕組み等)
- ◆ 超高齢社会の医療・介護への貢献
- ◆ 地方創生・地域活性化
- ◆ 国土構造やモビリティ向上への貢献
- ◆ グローバル展開とその実践
- ◆ 社会経済システム全体の高効率化とウェルビーイング追求
- ◆ 多様性を尊重する社会の実現

上記以外の観点で普及すべき際立った特徴がある場合は考慮する。

# 【参考】日本サービス大賞の審査基準とニコニコ図

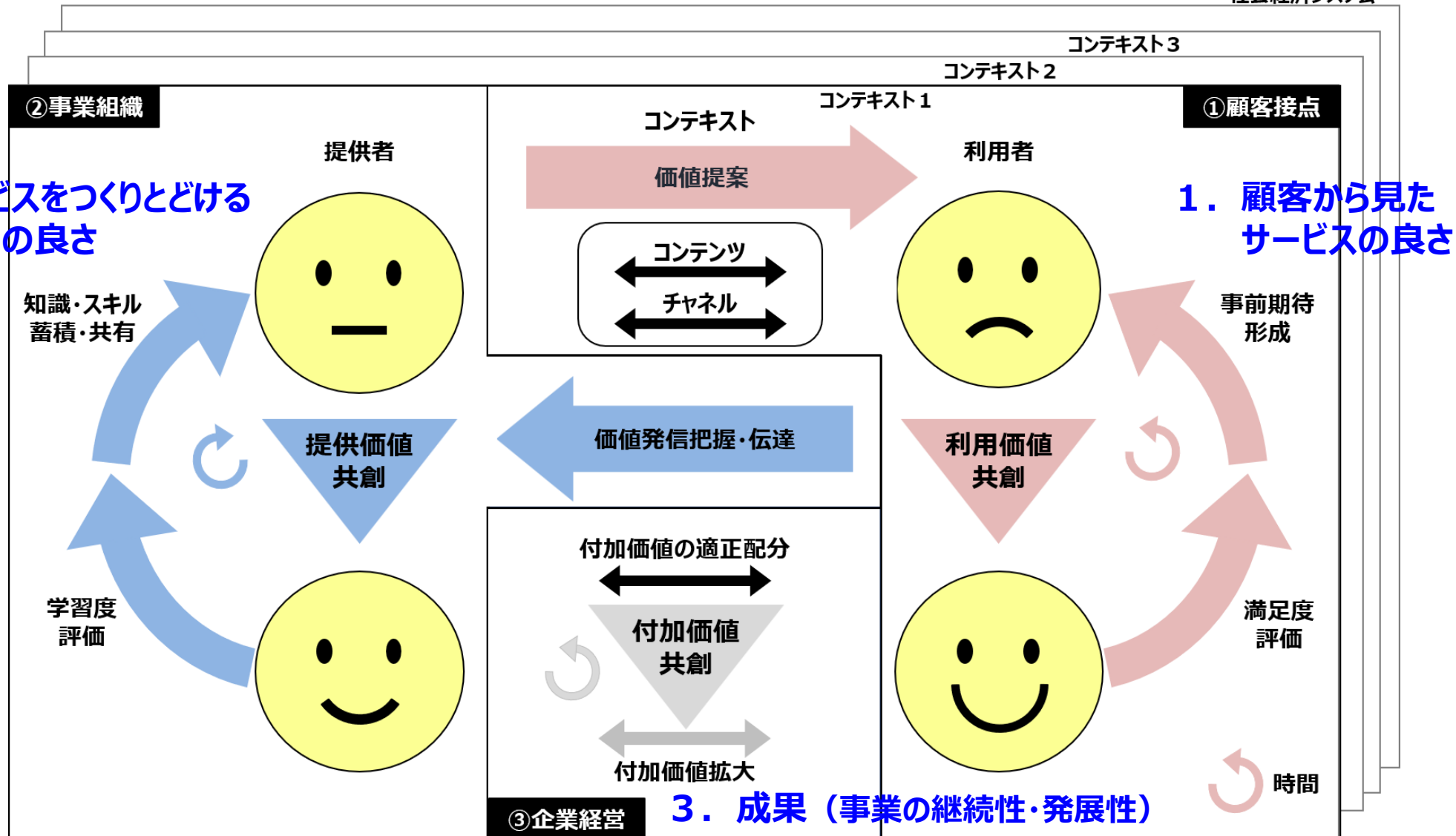


日本サービス大賞  
NIHON SERVICE AWARD

## 4. 社会の発展への寄与

社会経済システム

### 2. 「サービスをつくりとどけるしくみ」の良さ



### 3. 成果（事業の継続性・発展性）

出所：「価値共創のサービスイノベーション実践論ー「サービスモデル」で考える7つの経営革新」（村上輝康・松井拓己編著、生産性出版 2021）一部修正

# 【参考】第5回の応募実績内訳

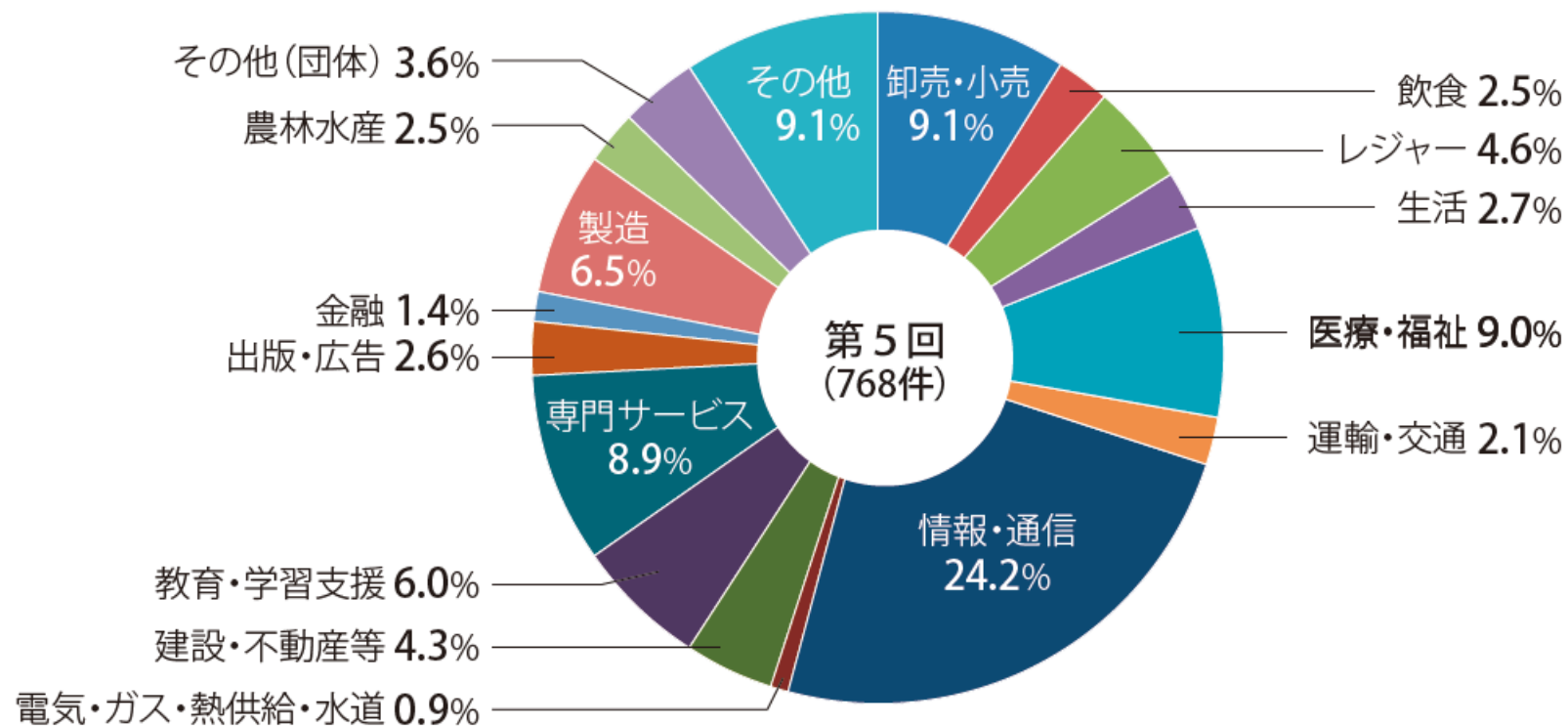


日本サービス大賞  
NIHON SERVICE AWARD

## 従業員規模別



## 業種別



# 応募のメリット

## 日本サービス大賞に**応募**すると

### 自分たちのサービスの**特徴**や**課題**など、**新たな気づき**が得られます！

- ▶ 応募書の作成を通じて、サービス研究の知見にもとづく日本サービス大賞の評価の視点から、自社のサービスの現状を振り返ることで、新たな気づきが得られます。

## 日本サービス大賞を**受賞**すると

### その優れたサービスを、**日本全国**にお伝えします！

- ▶ 各大臣等から直接表彰される様子を広くお伝えし、ホームページや各種媒体、イベント等を通じて受賞事例を紹介しします。優れた取り組みが広く認知され、社会的信用やブランド価値の向上、社員の誇りや意識向上にもつながります。

### 受賞組織同士の**交流**を通じた、**新たなサービスイノベーション**も

- ▶ 例えば、第3回日本サービス大賞の表彰式での出会いをきっかけに、星野リゾートとwash-plusが共創。洗剤を使わないホテルの宿泊者向けランドリーサービス「wash+comfort」を開発し、快適性向上と環境負荷低減を両立しました。



## 受賞者の声



### 同じ挑戦者として、心より応援します

どんなに小さな違和感であっても、それを見逃さずに解決しようと挑むプロセスにこそ、社会を動かす力が宿っています。より良い社会を願う、その志は日本サービス大賞への応募を通じて磨かれていきます。この賞をきっかけに素晴らしいサービスがさらに広く社会へ届くことを同じ挑戦者として、心より応援しています。

(生活関連・業務支援サービス)

### 受賞してから大きな変化に驚いています

受賞してから私の周りは何もすごく変わりました。いろいろな声をいただくと共に、ビジネスの幅も早速広がっています。本気でこの賞を狙って欲しいと思います。

(観光・宿泊業務支援サービス)

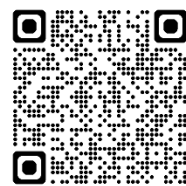
### 自社サービスを可視化し、付加価値を向上できます

応募を通じて、自社のサービスを可視化できました。これにより新たな付加価値をつけることができます。日本のサービスも良くなり、新しい事業が生まれてくると思います。

(農林水産業務支援サービス)

### 受賞コメント動画(YouTube)

<https://www.youtube.com/@service-award/videos>



### 受賞組織からの応援メッセージ

<https://service-award.jp/voice.html>



第6回日本サービス大賞 応募説明会

## 第6回日本サービス大賞の応募について



2026年 8月 27日（木）

**SPRING**  
サービス産業生産性協議会

# 応募対象者について(詳細)

- ✓ 日本国内に拠点を置く事業者であれば、業種や事業の営利・非営利を問いません  
製造業、農林水産業によるサービス事業も応募可能です
- ✓ 応募できるサービス事業は、応募時点で実際に提供しているものに限りです
- ✓ 同一事業者による複数のサービスの応募が可能です(応募はサービスごとに行ってください)
- ✓ 過去に応募したことのあるサービスでも応募可能です
- ※ 公序良俗に反する等、社会通念上不適切と思われる事業者は除きます

## よくあるご質問から

### 応募可能 主体

- NPO法人・非営利団体のほか、組合・コンソーシアムなどの任意団体
- 日本国内に活動拠点を置く外資系企業
- 小規模事業者や個人(但し、個人は事業者として応募してください)
- 業績が赤字の事業者
- 複数企業・団体に連携して提供しているサービスは、代表者1社を決めた上で応募ください

### 応募可能 サービス

- 製造業の「製品」に付随するサービス(ものづくり行為や製品そのものを除く)
- 海外で提供しているサービス
- 前回までに応募したサービス(前回から変わった点や新たに加わった内容を記載してください)

### 応募不可 サービス

- 行政サービス、サービスの対価を一切受け取らないもの
- 既に終了もしくは終了予定のサービス、今後開始予定のサービス

# 応募受付から表彰までの流れ

※ 諸状況により変更になる場合があります。



日本サービス大賞  
NIHON SERVICE AWARD

2026年8月～

1

応募フォーマット公開

- ✓ 日本サービス大賞WEBページで公開

9月14日(月)～10月29日(木)15時

2

応募受付

- ✓ 応募フォーマット(入力済み)をWEB上でアップロードし、応募

2026年11月～12月

3

書類一次審査

- ✓ 応募書類をもとに審査

2026年12月～2027年4月

4

書類二次審査

- ✓ 追加資料の提出をお願いする場合があります

2027年4月～

5

現地審査

- ✓ 経営者ヒアリングと現場確認

※ 現地審査に進まなかった場合は、結果を通知します

2027年冬

6

発表・表彰

- ✓ 最終選考等を経て、発表・表彰

# 応募書類について

|   | 必要書類                                    | 入手方法                             | 提出方法                | 留意点                                                                 |
|---|-----------------------------------------|----------------------------------|---------------------|---------------------------------------------------------------------|
| 1 | 応募フォーマット                                | ✓ 日本サービス大賞<br>WEBページから<br>ダウンロード | ✓ 応募用ページに<br>アップロード | ✓ ページ数:5ページ以内<br>フォント :10.5ポイント以上<br><br>✓ 適宜、図などを用いて分かりやすく説明してください |
| 2 | 応募時に必要となる情報<br>(会社名、業種、代表者名、<br>担当者名など) | ✓ 同上                             | ✓ 応募用ページ上で<br>入力    | ✓ 応募フォーマットと同時に<br>「応募時に必要となる情報」を<br>ダウンロードし、予めご準備<br>ください           |

日本サービス大賞WEBページ

<https://service-award.jp>

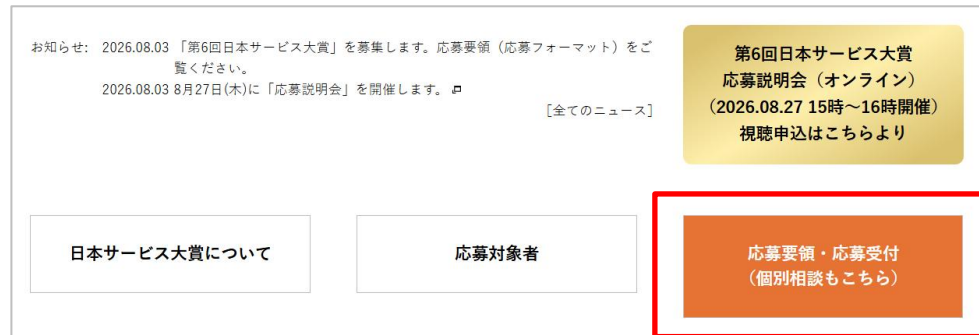


# 応募方法(手続き)の流れ

1

## 応募フォーマットのダウンロード

1. 日本サービス大賞WEBページ( <https://service-award.jp/> )にアクセスし、トップページ上の「応募要領・応募受付」をクリック
2. 「応募フォーマットをダウンロード」をクリックし、ページの流れに沿って必要事項を入力。  
①「応募フォーマット」、②「応募時に必要となる情報」をダウンロード



- ✓ 日本サービス大賞は、WEBページからご応募いただけます。郵送やFAXでのお申込みは受け付けておりませんので、予めご了承ください。
- ✓ 応募・審査費用は無料です。

2

## 応募申込み(9月14日(月)~10月29日(木)15時)

1. 「応募フォーマット」に必要事項を入力。また、「応募時に必要となる情報」をもとに、必要情報を予め準備
2. 日本サービス大賞WEBページのトップページ上の「応募要領・応募受付」をクリック
3. 「応募はこちら」をクリックし、メールアドレスを入力
4. 入力したメールアドレスに、応募用ページのご案内メールが届きます。リンクをクリックし、「応募時に必要となる情報」を入力、作成した「応募フォーマット」をアップロード



# 応募フォーマットの記入について(1/4)

## 1ページ目

nsa6\_app\_form.docx

※全体を5ページ以内におまとめください。(フォント10.5pt以上)

### 第6回 日本サービス大賞 応募フォーマット

#### a. 応募事業者とサービス名

a-1. [応募事業者名(会社名/組織名)] ※ 複数事業者で連携している場合は代表事業者名

a-2. [応募サービス名: タイトル] 30字以内でご記入ください。  
※ 審査・表彰で使用します。応募サービスの革新的で優れた点を一言で表すような短いタイトルを工夫してみてください。

a-3. [写真] 応募サービスを象徴するような写真を添付してください(最大3枚まで。図などの画像も可)  
(1枚目)(写真の見出し) (2枚目)(写真の見出し)

#### b. サービスの説明

b-1. [サービスの概要] 応募サービスの概要(誰に・何を・どのように提供しているのか、価格を含む)を5行程度で説明してください。

【参考】サービス紹介WebサイトURL(代表的なものを1つ):

b-2. [サービスの特徴] 同業や従来サービスなどと比べた特徴(優れている点や新しいと思う点)を最大3つまでご記入ください。  
※ その裏付けとなるような具体的な数字や実例も、ぜひ付け加えてください。

①  
②  
③

b-3. [サービスの詳細] 応募サービスについて、詳しく説明してください。その際、可能な範囲で次のような点を含めてみてください。

①顧客のどのような要望・期待に応えるサービスなのか、②サービスの全体的な流れ(顧客とのやりとりを含む)、  
③サービスの運営体制(ビジネスパートナーも含む) ※ より伝わりやすくなるように、図表・画像なども適宜ご活用ください。

## 記入のポイント

1

- ✓ [応募サービス名: タイトル]:  
サービスの革新的で優れた点がイメージしやすい  
タイトル(30字以内)

2

- ✓ [写真]:  
サービスを実際に提供している場面など  
応募サービスを象徴するような写真  
図などの画像も可

3

- ✓ [サービスの概要]:  
誰に・何を・どのように提供しているのか、  
価格も含めて説明(5行程度)

4

- ✓ [サービスの特徴]:  
同業や従来サービスと比べた特徴  
(優れている点や新しいと思う点)  
最大3つまで

※ その裏付けとなるような具体的な数字や実例も、  
ぜひ付け加えてください

# 応募フォーマットの記入について(2/4)

## 1ページ目 続き

b-2. [サービスの特徴] 同業や従来サービスなどと比べた特徴（優れている点や新しいと思う点）を最大3つまでご記入ください。  
※ その裏付けとなるような具体的な数字や事例も、ぜひ付け加えてください。

①  
②  
③

b-3. [サービスの詳細] 応募サービスについて、詳しく説明してください。その際、可能な範囲で次のような点を含めてみてください。  
①顧客のどのような要望・期待に応えるサービスなのか、②サービスの全体的な流れ（顧客とのやりとりを含む）、  
③サービスの運営体制（ビジネスパートナーも含む） ※ より伝わりやすくなるように、図表・画像なども適宜ご活用ください。

5

b-4. [提供開始年月と企画・開発の経緯] 応募サービスの提供開始年月と、企画・開発の経緯を説明してください。

提供開始年月（西暦） 年 月～

企画・開発の経緯（きっかけや思い、エピソードなど）

6

## 記入のポイント

5

✓ [サービスの詳細]:  
次のような観点を含めて説明

- ・ 顧客のどのような要望・期待に応えるサービスなのか
- ・ サービスの全体的な流れ（顧客とのやりとりを含む）
- ・ サービスの運営体制（ビジネスパートナーも含む）

※ より伝わりやすくなるように、図表・画像なども  
適宜ご活用ください。

6

✓ [提供開始年月と企画・開発の経緯]:

- ・ 応募サービスの提供開始年月
- ・ 企画・開発の経緯  
きっかけや思い、エピソードなど

# 応募フォーマットの記入について(3/4)

## 2ページ目

※全体を5ページ以内におまとめください。(フォント 10.5pt 以上)

b-5. [顧客からの評価] 応募サービスが顧客からどのように評価されているかを、把握の仕方を含めて説明してください。また、顧客からの評価を示すデータや指標があれば、あわせて示してください。

■顧客からどのように評価されているか、それをどのように把握しているか ※自己評価でも結構です。

■顧客からの評価を示すデータや指標 (直近3年程度) 利用者数 (利用者層別など)、売上・シェア、顧客満足度、リピート率など ※書ける範囲で結構です。

※ その他、顧客以外の外部から受けた評価 (受賞歴、メディア掲載などを含む) があれば、こちらにご記入ください。

b-6. [サービスの改善・改革] サービスの改善・改革、さらには次の開発をもたらすような仕組みや工夫について説明してください。

b-7. [社会の発展への寄与] このサービスが社会全体、業界や地域、従業員にもたらしている良い影響や結果を説明してください。これから期待されることでも結構です。

例) 生産性や付加価値の向上、経営システム革新、少子化対策・子育て支援、超高齢社会の医療・介護、働きがいや働きやすさ、地方創生・地域活性化、情報通信技術の活用・制御、国土構造やモビリティ向上、製造業・農林水産業のサービス化、グローバル展開とその実践、など

c. 応募事業者について

c-1. [応募事業者の説明] 経営や事業全体への思いや考えを説明してください。複数事業を行っている場合には、事業全体における応募サービスの位置づけや狙いも説明してください。

c-2. [財務情報] 応募事業者全体での情報をご記入ください。 ※ 複数事業者が連携する場合は代表事業者の情報

|                    | 3期前決算 | 2期前決算 | 前期決算 |
|--------------------|-------|-------|------|
| 決算期 (西暦)           | 年 月   | 年 月   | 年 月  |
| 売上高 (千円)           |       |       |      |
| 営業利益 (千円)          |       |       |      |
| 従業員数 (非正規含む) (人) ※ |       |       |      |

## 記入のポイント

7

✓ [顧客からの評価]:

- ・ 顧客からどのように評価されているか、それをどのように把握しているか
- ・ 顧客からの評価を示すデータや指標 (直近3年程度) 利用者数 (利用者層別など)、売上・シェア、顧客満足度、リピート率など

8

✓ [サービスの改善・改革]:

- ・ サービスの改善・改革、さらには次の開発をもたらすような仕組みや工夫

9

✓ [社会の発展への寄与]:

- ・ 応募サービスが社会全体、業界や地域、従業員にもたらしている良い影響や結果など

※ これから期待されることでも結構です

# 応募フォーマットの記入について(4/4)

## 2ページ目 続き

※ その他、顧客以外の外部から受けた評価（受賞歴、メディア掲載などを含む）があれば、こちらにご記入ください。

b-6. [サービスの改善・改革] サービスの改善・改革、さらには次の開発をもたらすような仕組みや工夫について説明してください。

b-7. [社会の発展への寄与] このサービスが社会全体、業界や地域、従業員にもたらしている良い影響や結果を説明してください。これから期待されることでも結構です。

例) 生産性や付加価値の向上、経営システム革新、少子化対策・子育て支援、超高齢社会の医療・介護、働きがいや働きやすさ、地方創生・地域活性化、情報通信技術の活用・制御、国土構造やモビリティ向上、製造業・農林水産業のサービス化、グローバル展開とその実践、など

### c. 応募事業者について

c-1. [応募事業者の説明] 経営や事業全体への思いや考えを説明してください。複数事業を行っている場合には、事業全体における応募サービスの位置づけや狙いも説明してください。

10

c-2. [財務情報] 応募事業者全体での情報をご記入ください。 ※ 複数事業者が連携する場合は代表事業者の情報

|                    | 3期前決算 | 2期前決算 | 前期決算 |
|--------------------|-------|-------|------|
| 決算期 (西暦)           | 年 月 日 | 年 月   | 年 月  |
| 売上高 (千円)           |       |       |      |
| 営業利益 (千円)          |       |       |      |
| 従業員数 (非正規含む) (人) ※ |       |       |      |

11

※ 非正規の従業員数は、およそ1日8時間・週5日勤務で何人分に相当するかを目安に加算してください。

c-3. [応募経験] 過去に本賞に応募されたことがありますか。ある場合にはサービス名もご記入ください。

| 過去の応募回<br>(✓をつける) | <input type="checkbox"/> 第1回<br>(2015) | <input type="checkbox"/> 第2回<br>(2017) | <input type="checkbox"/> 第3回<br>(2019) | <input type="checkbox"/> 第4回<br>(2021) | <input type="checkbox"/> 第5回<br>(2024) | <input type="checkbox"/> 応募なし |
|-------------------|----------------------------------------|----------------------------------------|----------------------------------------|----------------------------------------|----------------------------------------|-------------------------------|
| 前回応募時の<br>サービス名   |                                        |                                        |                                        |                                        |                                        |                               |

12

以上

## 記入のポイント

10

✓ [応募事業者の説明]:

- ・経営や事業全体への思いや考えを説明してください。
- ・複数事業を行っている場合には、事業全体における応募サービスの位置づけや狙いも説明してください。

11

✓ [財務情報]: 応募事業者全体での情報を記入

- ・過去3期分の売上高、営業利益、従業員数

12

✓ [応募経験]:

- ・過去応募実績を記入

※ 異なるサービスでの応募を含む

# 審査の流れ

- ✓ 経営者、学識者等の有識者で構成する日本サービス大賞委員会(委員長:菊地 唯夫 ロイヤルホールディングス 取締役会長／京都大学経営管理大学院 客員教授)を組織し、同委員会の下に、専門家で構成する選考専門委員会を設置します
- ✓ 選考専門委員会が下記の審査プロセスにおける書類審査と現地審査を担当し、その審査結果をもとに日本サービス大賞委員会が選考を行い、関係各府省の手続きを経て、発表・表彰します

## 審査プロセス

※ 諸状況により変更になる場合があります。

2026年  
11月～12月

書類  
一次審査

- ✓ 応募書類により審査を行い、候補の絞り込みを行います

2026年12月～  
2027年4月

書類  
二次審査

- ✓ 書類一次審査で絞り込まれたサービスについて、審査を行います
- ✓ 追加資料の提出をお願いする場合があります

2027年4月～

現地審査

- ✓ 書類審査で絞り込まれたサービスについて、現地審査を行います
- ✓ 現地審査では経営者ヒアリングと現場確認を実施します

最終選考

- ✓ 現地審査の結果をもとに最終選考を行います。その後、関係各府省の手続きを経て、受賞サービスを決定します

2027年 冬 発表・表彰

## よくあるご質問から

結果通知

- 書類審査が終了した段階で、通過した応募者には個別にご連絡します。また、現地審査に進まなかった場合は、結果を通知します

現地審査

- 選考専門委員による経営者ヒアリングや現場確認を予定しています。詳細は、書類審査を通過した応募者にご連絡します

よくあるご質問

<https://service-award.jp/qa.html>



# 個別相談会について

オンラインにて、応募に関する個別相談会を実施します。  
相談をご希望の方は、お気軽に日本サービス大賞WEBページよりお申込みください。

## <実施日程>

9月 2日(水)～10月23日(金) 毎週(水)(木)(金) 10時～17時の時間帯を予定  
1団体30分程度、3名様まで

個別相談会のお申込み

[https://service-award.jp/app\\_consultation.html](https://service-award.jp/app_consultation.html)

